

●ラゲージ収納容量アップ

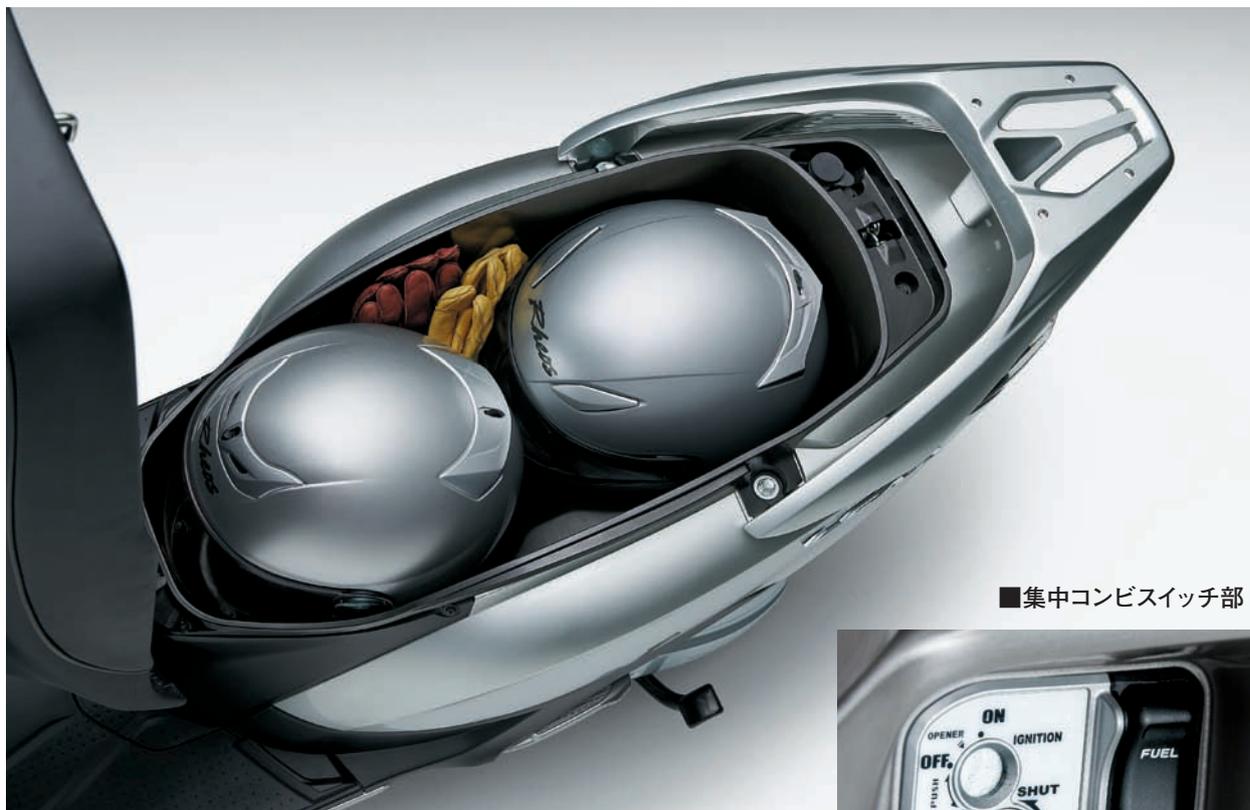
2人乗りスクーターとしての利便性を向上させるため、ヘルメット収納角度などのレイアウトを見直すことでフルフェイスヘルメットとタンデム用ヘルメットを同時に収納可能^{※1}な、37L^{※2}の大容量ラゲージボックスをシート下に装備しました。 ※1 ヘルメットの形状によっては収納できない物もあります。 ※2 Honda調べ。

また、通勤やショッピングなど様々な生活シーンでより役立つ通勤用として、従来よりもラゲージスペースの幅を広げるなど、収納部の形状を改良してB4サイズのビジネスバッグなども収納を可能としました。

シートのオープンは、メインキーでロック解除可能な集中コンビススイッチ部で行います。シーソー式のボタン下側を押すことでシートがオープンします。

LEAD125は、排気量アップに加え、ラゲージ収納容量アップを図りながらも、市街地などでの良好な取り回し性を確保するために、従来よりも7%軽量化した新設計フレームにより、従来同等の完成車重量を実現しました。

■大容量ラゲージボックス



■集中コンビススイッチ部

※ラゲージボックスには、熱の影響を受けやすいもの、こわれやすいもの、貴重品は入れないください。
 ※ラゲージボックスは、ヘルメットの形状・大きさによっては入らない場合があります。
 ※ヘルメットは別売です。 ※写真の小物類は撮影のために用意したものです。